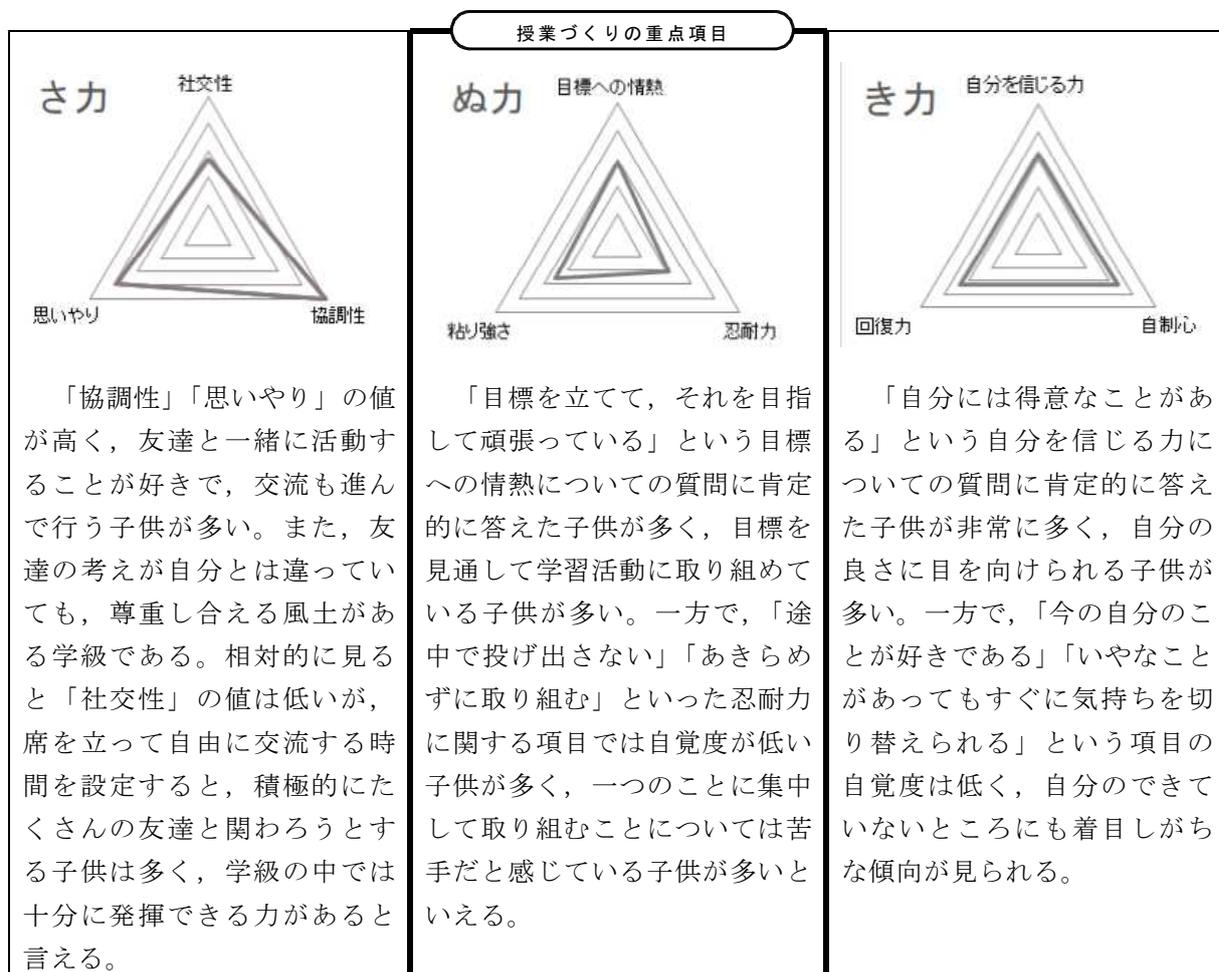


1 さぬき力（非認知能力）に関する子供(34名)の実態



2 教科に関する子供の実態

「鑑賞の学習が好きですか。」（肯定的回答：25名）

「前鑑賞題材『ハンガリー舞曲第5番』の授業は楽しかったですか。」（肯定的回答：31名）

「鑑賞の学習の交流で、友達の考えを自分の考えに取り入れようと思うことはありますか。」

（肯定的回答：32名）

「鑑賞の学習で学んだことを、自分の生活に生かしたいと思うことがありますか。」

（肯定的回答：16名）

（聴き取り問題：「交響曲第5番『運命』第1楽章」を流して）「この曲を聴いたことがありますか。」

（「ある」と回答：31名）

3 個別支援が必要な子供の実態

A児…「社交性」の自覚度が低く、自分から進んで交流することが苦手だが、交流の価値は感じられており、話す相手が決まれば、目的をもって交流することができる。また、自分の思いや考えを文だけでなく絵で表現することが得意である。

第6学年西組 音楽科学習指導案

「あなたの 私の 感じた『運命』」

学習指導者 高塚 仁志



1 本題材で目指す『自ら伸び続ける子供』の姿

【授業の詳細】

本題材では、「交響曲第5番『運命』第1楽章」（以下、『運命』）を、異なる演奏者による演奏を比べながら鑑賞することで、曲想と音楽の構造との関わりについての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさを見だし、曲全体を味わって聴けるようになることを目指していく。第一次では、『運命』の曲全体を通して聴くことで、子供たちは思い思いに曲のよさを感じ取るだろう。また、曲の中で何度も繰り返され、曲を印象付けている冒頭の動機に歌詞を付けることで、第1主題の曲想を短い言葉で表現する。そして、前の鑑賞題材『ハンガリー舞曲第5番』の学習で、友達との交流によって曲想と音楽の構造との関わりについての理解を深めたことが、曲をより深く味わうことにつながったことを想起し、「この曲にはどんなよさがあるのだろう。今回も友達が感じたことを聞いてみたい」と、交流によって色々な視点で曲のよさを考えていくことについての思いを高める。第二次では、別の演奏者による音楽の構造が異なる複数の『運命』の演奏に出会い、歌詞を当てはめながら聴くことで、その曲想が変わっていることを感じ取り、考えたことについて交流する。例えば、「私は、速度が速い演奏を聴いて、『助けて、助けて』と叫ぶ歌詞にしていたけれど、ゆっくりな演奏だとあまり必死な感じがしなかったよ」「私は『財布を、落とした』という歌詞だけど、ゆっくりな方がより落ち込んだ感じがすると思ったよ」「なるほど。速いと焦る感じ、ゆっくりだと深刻な感じになるのかな」というように、曲想と音楽の構造の関わりについての理解を深めていく。また、動機部分の器楽演奏を行い、極端に速い、遅いといった表現を試すことで曲想の変化を捉え、鑑賞での理解をさらに深めていく。このように、自分の考えた歌詞を当てはめながら複数の演奏を部分的に聴き比べて感じたことを交流し、器楽表現によって学びを深めるという活動を通して、第三次には、曲やそれぞれの演奏のよさを見だし、曲全体をより深く味わって聴くことができるようになる。また、本題材の学習を通して、日常生活で自分の好きな音楽を聴くときにおいても、音楽の構造を基に自分の好きな表現を探るなど、音楽により深く親しんでいこうとする思いを高めていこう。

2 題材計画と働きかけの概要（本時 3/4）

次	学習の流れ	働きかけ
一	<p>① 初鑑賞で曲のよさを味わおう</p> <p>『ハンガリー舞曲第5番』の学習を振り返り、題材の見通しをもつ。また、『運命』の曲全体を聴いて第一印象で感じた曲のよさを考えるとともに、音楽の構造を捉え、第1主題の曲想を表すために動機に歌詞を付ける。</p>	<p>見通し 情【みんなの『運命』記録】①～④</p> <p>題材を通して曲のよさを味わっていくという目標とその価値を示し、目標に向けた学びの過程を蓄積する。＜◎目標を見通し、本時の学習内容を考えられている姿を教師が即時的に称賛する。振り返り場面で、本時の学びを自己評価する＞</p>
二	<p>② 速度が変わると、曲の感じはどう変わるのだろう</p> <p>速度が異なる2曲の第1主題を聴き比べることで、速度の違いによる曲想の違いを捉え、『運命』のよさを味わう。</p> <p>③ フェルマータの長さが変わると、曲の感じはどう変わるのだろう</p> <p>フェルマータの長さが異なる2曲の第1主題を聴き比べることで、フェルマータの長さの違いによる曲想の違いを捉え、『運命』のよさを味わう。</p>	<p>行動 社【たくさん聞きタイム】①～④</p> <p>学習支援ソフトを使うことで、自分の考えを記入したカードを簡単に送り合い、多くの友達と交流し、様々な考えを知ることができるようにする。＜◎自分から進んで交流できている姿を教師が即時的に称賛する。振り返り場面で交流したよさについて自己評価する＞</p>
三	<p>④ 自分の好きな『運命』のよさを紹介しよう</p> <p>自分が気に入った『運命』を通して聴いて曲のよさをまとめ、紹介し合う。また、動機を器楽表現した経験を生かして、次の題材「動機をもとに音楽をつくろう」で音楽づくりの活動をしていく見通しをもつ。</p>	<p>振り返り 信・回【私の『運命』記録】①～④</p> <p>本時に見つけた曲のよさと、交流での発見について振り返る。＜◎自己評価によって自分の成長を自覚させる。成長できなかったと感じている子供には教師が声かけを行う＞</p>

3 本時の学習

目 標	フェルマータの長さが異なる2曲の第1主題に自分の考えた歌詞を当てはめながら聴き比べ、感じたことを交流することで曲想と音楽の構造との関わりについて捉え、新たな曲のよさを見いだすとともに、自分の成長を感じている。
--------	--

学習活動と働きかけ	主な子供の意識	
<p>1 2曲の冒頭の動機を聴き比べ本時の学習の見通しをもつ。 【目標への情熱】 【みんなの『運命』記録】</p>	<p>前時は速度の違う2曲の『運命』を聴き比べて交流したら、曲のよさを感じることができたね。今日はまた違う演奏者の『運命』を聴いてみたいな。</p> <p>動機の4つ目の音の長さが全然違うよ。フェルマータが付いているね。</p> <p>フェルマータの音の延ばし方は、演奏者によって違うんだね。</p> <p>自分の歌詞を当てはめて聴き比べてみたいな。どんな違いがあるかな。</p> <p>フェルマータの働きが分かれば、『運命』のよさをもっと味わえるね。</p>	
フェルマータの長さが変わると、曲の感じはどう変わるのだろう		
<p>2 第1主題に自分の歌詞を当てはめながら聴き比べ、感じたことをカードに書く。</p>	<p>「助けて、助けて」という歌詞を当てはめると、ドラホシュの演奏は何度も繰り返し助けを求める感じで、ワルターの演奏は遠くの人に助けを求めて叫んでいる感じになるな。</p> <p>「財布を、落とした」という歌詞を当てはめると、ワルターは合うけれど、ドラホシュは合わないな。ドラホシュは「消しゴム、落とした」という感じかな。</p> <p>友達はどう感じたのか、聞いてみたいな。</p>	
<p>3 自分が感じたことを交流し、曲想とフェルマータの長さとの関わりについて考える。 (1)少人数(2)全体 【社交性】 【たくさん聞きタイム】</p>	<p>ドラホシュの演奏だと、財布が消しゴムに変わるの面白いな。落ち込んではいるけれど、そこまではないという感じなんだね。</p> <p>同じ歌詞でも場面が変わるのが面白いな。場面を思い浮かべて歌詞を入れてみると、本当にその通りの演奏に感じるよ。</p> <p>色々な友達の考えを聞くと、新しい発見があったな。</p> <p>フェルマータが短いと、深刻さが少し軽い感じ、焦る感じがするね。</p> <p>フェルマータが長いと、深刻な感じ、ゆっくりとした感じがするね。</p> <p>フェルマータの長さを変えて演奏して確かめてみると、みんなで見付けた通りの感じが表せたね。</p>	
<p>4 それぞれの演奏のよさを書く。</p>	<p>ドラホシュの演奏は、次々と進んでいってドキドキする感じが好きだな。</p> <p>ワルターの演奏は、すごく悲しい運命を表している感じが好きだな。</p> <p>今日も『運命』のよさを見付けることができたね。</p>	
<p>5 本時の学習を振り返る。 【自分を信じる力】 【回復力】 【私の『運命』記録】</p>	<p>フェルマータの長さによって曲の感じが変わることを学んだから、『運命』の面白さがまた一つ分かったよ。</p> <p>たくさんの友達に考えを聞くことができて、色々な考え方を知れたのでよかったな。</p> <p>自分にはこんなに想像を広げる力があるんだな。</p> <p>少ししか交流できなかったけれど、面白い考えが聞けたからよかったな。</p>	

評 価	2曲を聴き比べることで、フェルマータの長さの違いによる曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、自分の感じたことを書いたり、伝え合ったりして、それぞれの演奏のよさを味わうとともに、自分の成長を感じられている。 【方法：発言・様相・記述・演奏】
--------	--

働きかけの詳細資料

～見通し～ **学習活動1** 情【みんなの『運命』記録】(1～4時間目)

前の鑑賞題材「ハンガリー舞曲第5番」で、友達との交流によって曲想と音楽の構造との関わりについての理解を深めたことが、曲をより深く味わうことにつながったことを想起させる。本題材においても友達との交流を通して『運命』のよさを見だしていくことを大型モニターを見て確認できるようにし、目標を見通しながら本時の学習内容を考えられている姿を教師が称賛する。そして、曲のよさを味わうことが自分の好きな曲を聴く時にも生かせるという意見を共有することで日常生活との繋がりも感じられるようにし、目標を達成することの価値を実感できるようにする。また、学習の内容を記録していき、目標に向けて『運命』についての理解が深まり、よさを味わう力がついてきていることを、視覚的に捉えることで実感し、振り返りの場面で「自分を信じる力」を発揮する働きかけになるようにする。



【みんなの『運命』記録】

本時は、新たな2曲の演奏を鑑賞するが、みんなの『運命』記録を確認することで前時の課題解決の過程を確認し、本時の学習の見通しをもてるようにする。

～行 動～ **学習活動2** **学習活動3** 社【たくさん聞きタイム】(1～4時間目) **学習活動4**

本題材における行動場面では、たくさん聞きタイムを設定して「社交性」を発揮できるようにする。子供たちは学習支援ソフト内のカードに自分の考えを記入しておき、それを交流の際に送り合いながら色々な友達と交流することで、時間をかけずにたくさんの友達の考えにふれることができる。交流後や振り返り場面で交流人数や内容について尋ね、進んで交流したことによって新しい発見をすることができた子供への称賛の声かけをすることで、「社交性」を発揮したことの自覚を促す。



【交流用カード】

本時は、フェルマータの長さの違う2曲に、事前に設定した歌詞を当てはめて聴き比べ、それぞれの演奏から感じたことをカードに記入しておく。そして、自分の考えとの異同に着目しながら交流をすることで、多くの情報を集めたり、新たな考えに出合ったりし、曲想と音楽の構造との関わりについての理解が深められるようにする。また、大型モニターにクラス全員の考えた歌詞を提示しておくことで、自分と似た歌詞の友達や、意見を聞いてみたい友達など、交流相手を決める際の参考になるようにする。A児には、よい考えが書けていることを伝え、自信がもてるようにしたり、教師が大型モニターを見て交流相手と一緒に考えたりすることで、社交性が発揮できるようにする。



【演奏プログラム】

～振り返り～ **学習活動5** 信・回【私の『運命』記録】(1～4時間目)

『運命』のよさが今日の活動で味わえたか、友達と話し合っってよい考えが得られたか、その他(生活への生かし方等)の3点について振り返る。自分の成長を感じられている子供は、「はい」に丸を付け、「自分を信じる力」を自己によって価値付ける。教師は、「いいえ」に丸を付けた子供に着目し、その理由が自己肯定感の低さによる場合は、理由の欄を別の視点で見ることを伝えることで、成長した部分があることを自覚させ、目標の達成ができていない場合は、『いいえ』が『はい』になるためにはどうしたらいいかな」と問い、次時に向けて修正点を考える姿勢を称賛することで、「回復力」を自覚できるようにする。

私の『運命』記録		名前()	
目標	『運命』のよさが今日の活動で味わえたか 今日の活動で『運命』のよさを今日感じた『運命』のよさ	交流相手と話し合っって新しい発見があったか 今日の発見	今日の感想 友達に生かせること 次にしたいこと など
	はい・いいえ	はい・いいえ	
	はい・いいえ	はい・いいえ	

【私の『運命』記録】